

■林有造 自由民権家。征韓論政変で下野、〈西南戦争〉支援で投獄されたりするも、議会開設後は、土佐派重鎮に。

はやしゆうぞう

天保改革弾圧1842＝ 土佐国幡多郡宿毛村で、土佐藩家老伊賀氏家臣岩村英俊の次男に生まれ、藩士林茂次平の養子となる。

兄に岩村通俊、弟に岩村高俊が、縁戚に竹内綱がいる。

阿部正弘首座1845＝ 3歳：

尊徳報徳論・1851＝ 9歳：

ペリー来航・1853＝11歳：

桜田門外変・1860＝18歳：

明治維新・・1868＝26歳：\_〈戊辰戦争〉に宿毛隊を率い、北越・陸羽に転戦。

戊辰戦争終・1869＝27歳：

初の日刊新聞1870＝28歳：\_板垣退助の推挙で欧州軍事視察員となり、品川弥二郎・大山巖らと渡欧。帰国後、

廃藩置県・・1871＝29歳：\_高知藩少参事、同権大参事となり、藩財政整理・民生安定に尽力、〈廃藩置県〉後、高知県参事となった。

学問のすすめ1872＝30歳：\_外務省に出仕したが、

明治6年政変 1873＝31歳：\_\*征韓論政変で板垣に従い帰郷、片岡健吉らと高知に{立志社}を設立し、

士族授産・教育を展開しつつ土佐派の中央政局への復帰の機会を窺い、

初の民間工場1875＝33歳：\_大阪会議に板垣の参議復帰を支持。

西南戦争・・1877＝35歳：\_\*〈西南戦争〉勃発するや、大江卓・岡本健三郎ら立志社幹部や元老院幹事陸奥宗光らと土佐派の挙兵を企図

、武器の調達に奔走したが発覚、関係者の大挙拘引となり、

大久保暗殺・1878＝36歳：\_禁獄十年を判決され、岩手監獄に投ぜられた。

明治14年政変1881＝39歳：

秩父事件・・1884＝42歳：\_仮出獄すると、直ちに政界復帰、自由党解党方針を支持。

国民之友始・1887＝45歳：\_後藤象二郎の参謀として、大江卓らと〈三大事件建白運動〉を指導、保安条例発布で東京を退去となり、宿毛へ帰郷して新田開発事業に取り組み、さらに北海道小樽築港に関与するうち、

帝国憲法発布1889＝47歳：\_帝国憲法の発布の大赦で東京追放解除、

帝国議会始・1890＝48歳：\_\*第一回衆議院議員総選挙に高知県第二区から当選、以降、政界を引退するまで連続当選。

自由党の領袖、土佐派の重鎮として中央政界で活躍、元老伊藤博文と板垣退助の接近にも深く関与、

日清戦争始・1894＝52歳：

白馬会・・・1896＝54歳：

子規句歌革新1898＝56歳：\_第1次大隈(隈板)内閣で逓信大臣に就任、このときの第6回総選挙にのみ出馬を辞退、

ピノク国産化・1900＝58歳：\_政友会結成に際して総務委員、同年第4次伊藤内閣で農商務大臣を歴任。

日露戦争終・1905＝63歳：

アヲキ創刊・1908＝66歳：\_\*政界を引退し、

明治天皇没・1912＝70歳：

第一次大戦始1914＝72歳：

原敬首相暗殺1921＝79歳：\_没した。